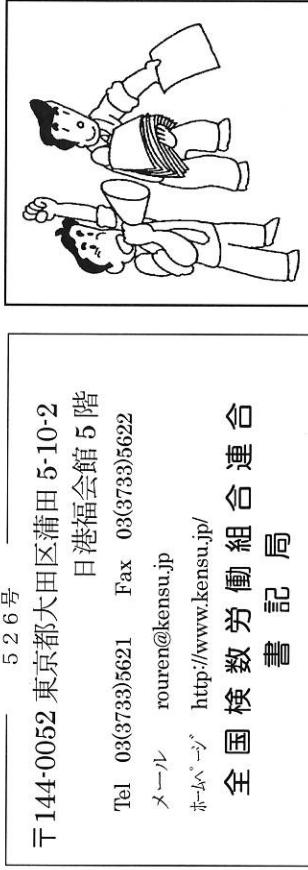


全国検数労働組合連合



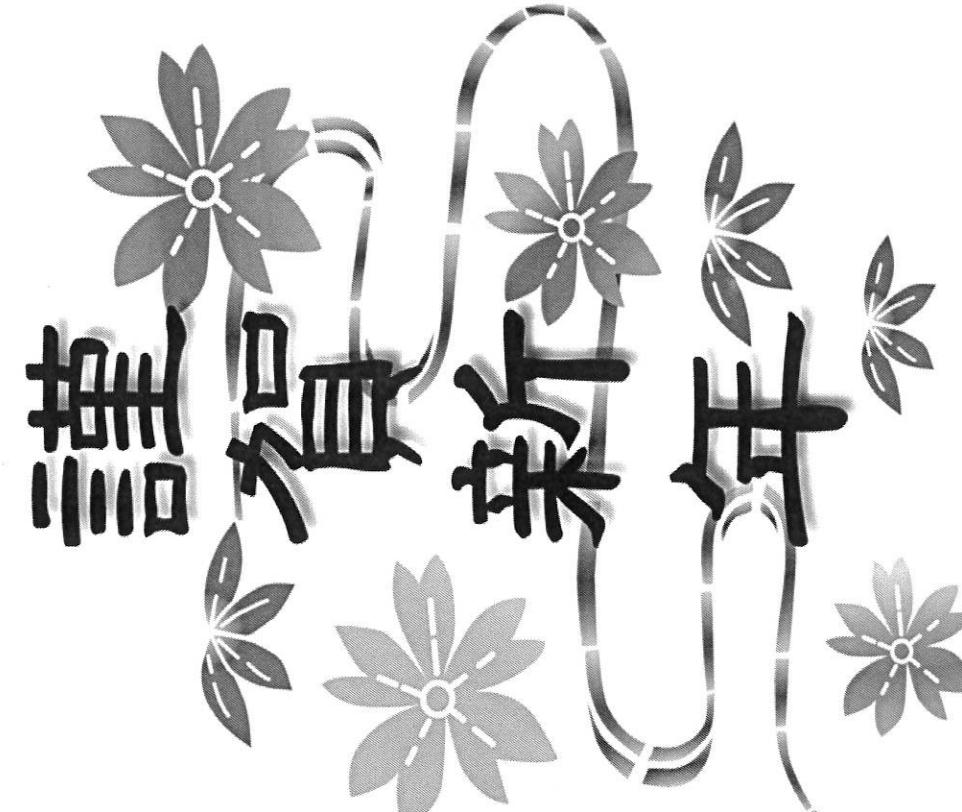
新年のご挨拶を申し上げます。また、検数労連に結集する組合員とそのご家族の皆さんより良い年になる事を心より祈念致します。今年の初めの正月をどのように過りましたか?ここに稳やかに正月を迎える今年一年も良い年にしたいものですね。

今年の干支の丁酉(ひのとり)は、丁酉『安定する』、酉『実なる』と、とても良い年になるとと言われています。

相克関係とも云われ到來とも云われておられます。心事で、私の関心事は六月の国民投票でイギリスがEU離脱を選択し、十一月のアメリカ大統領選挙ではトランプ氏が勝利したことです。画国民の選択の是非はさておき、グローバリズムの新自由主義・資本主義にこれまでとは異なる変化が起きていると、今後も注視していき

日本でも一部自動運転の車が販売されたり、A-1家電などの人口知能が大きな関心事となつてあり、システム化されたロボットから『あきらぬない(考る)ロボット』の開発が進められています。技術の進歩に人間が追いつけない時代の到来が予感されます。

私たちの職場である日本の港湾においても、一〇一八年に邦船三社がコンテナ船事業を統合すると新



聞報道されました。従来では考えられない事が始まり、まさに激動の時代に入ってきたのではないかと思ひます。

そこで、労働組合の存在が更に重要なことだと思います。当然、周りに何が起きたかとも組合員を守り、仲間として団結力を結集し、生活を向上させていくことが大きな役割となつります。

港湾産別でも、いま

検数のことが大きな話題となつております。注目が集まっています。自分たちの職場の有り方について、持続可能な検数業務として個々人の生活を守るためにも職場での議論を活発にしていく年にしたいと思っております。

当面する一七春闘ですが、実感できる賃上げが経済を良くしていくことに確信を持ち、日本経済を良くするためにも、個人消費による購買力を高め、内需拡大による経済の好循環が進むことに確信をもつて取り組んで行きます。

組合員の皆さんのがんばりを信頼による全国検数労連運動を構築することを申し上げ、新年にあたってのご挨拶いたします。

二〇一七年元旦

全国検数労働組合連合
中央執行委員長

津原 勝治

新春恒例♪お年玉クイズ♪

問題：□の中に入る漢字（一文字）はなんでしょうか？

正解者の中から抽選で5名の方に、**あるアソシエーション**アムな酒?や、素敵な商品をプレゼント! 正解が分かったら①答え②住所③氏名④所属組合を明記して、検数労連中央本部までFAXしてください。

FAX: 03-3733-5622

締め切りは平成29年1月28日(土)まで

とします。

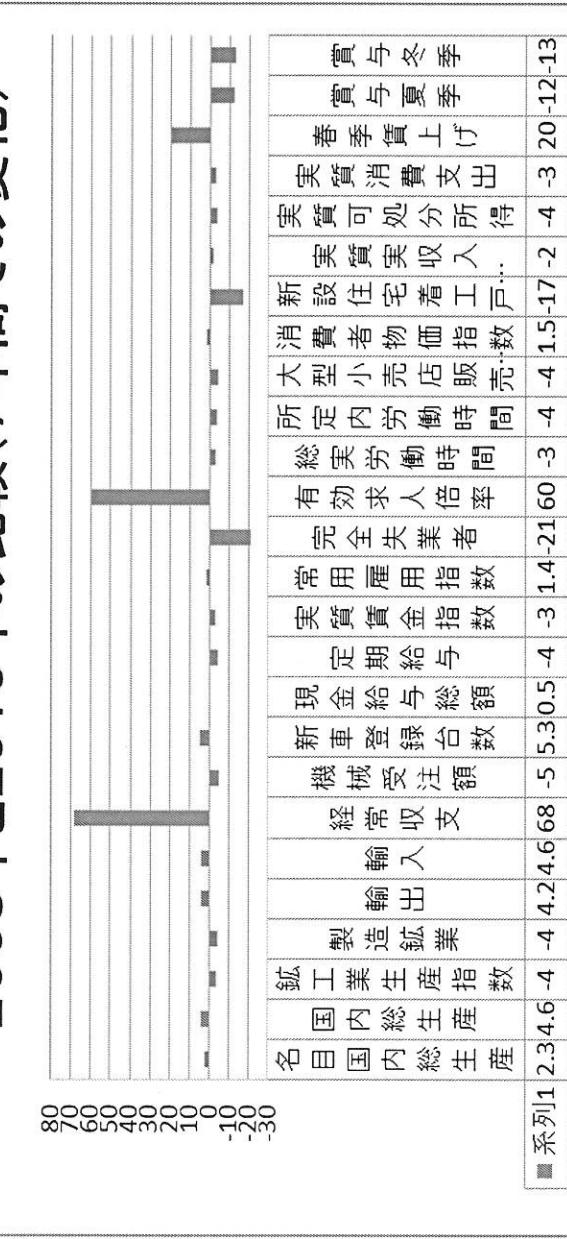
新春恒例♪お年玉クイズ

日 年
月 來
年 生

全国の仲間の団結で、17春闘を勝利しよう！

正規雇用が増えていき、効率化が進んでいます。しかし、その中で雇用条件が決して良いとは言えない業種ばかり。有効求人倍率や接客・給仕の職業などは、卸売・小売業、サービス業など低賃金で雇用条件が決して良いとは言えない業種ばかり。有効求人倍率が高い職種も、介護

2008年と2015年の比較(7年間での変化)



などサービス関連のない職種に労働者を職業である。アベノミクスの三年は、低賃金で雇用条件の良好でいい。

政府は、アベノミクスを中心とした経済政策に『効果あり』とし、『我が国経済は、二〇一二年末より持

ち直しに転じており、デフレ状況ではなくなる中、経済の好循環が回り始めている』と、アベノミクスの成績を誇っている。安倍

首相は、その証拠として、有効求人倍率の改善、正規雇用労働者の雇用情勢の改善を挙げて、有効求人倍率の改

善、正規雇用労働者の減少など雇用

効率化とともに雇用の改善が図られたかのように見えた。しかし、その中で身を検討すると、雇用の改善が進んでいることが分かる。

正規雇用が増えていき、効率化が進んでいます。しかし、その中で雇用条件が決して良いとは言えない業種ばかり。有効求人倍率が高い職種も、介護

リーマンショックの影響の少ない八年

前(二〇〇八年)と二〇一五年の経済指標を比較するグラフを見ると、今後の景気動向を示す先行指標は

▲四・ハボイント減、工業・製造業の活動状況を総合的に見ることができる鉱工業生産指数も▲三・六ポイント減となり。

消費動向を示す大型小売店販売額も▲四・三ポイント減である。勤労世帯の実収入は▲一・六ポイント減、実質可処分所得は

▲三・六ポイント減となつていて、消費が伸びないのも当然であると言える。景気回復の『特効薬』はやはり賃金引き上げである。

GDPの6割近くを占める個人消費を回復していくと、景気回復は実現できると確信している。

そのためにも一七春闘における大幅賃上げと賃金の底上げが重要になつていて、

戦争法廃止、改憲阻止の国民的共同

安倍政権の改憲策動と戦争する国づくりをめぐる攻防は重大な局面を迎えていく。

安倍政権は、憲法審査会を野党分断の舞

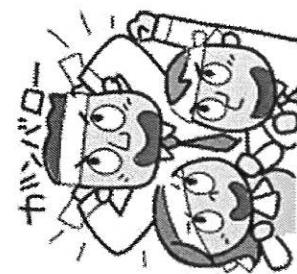
台に立て上げ、憲法策動の具体化を図ろうとしている。

安倍政権の改憲の

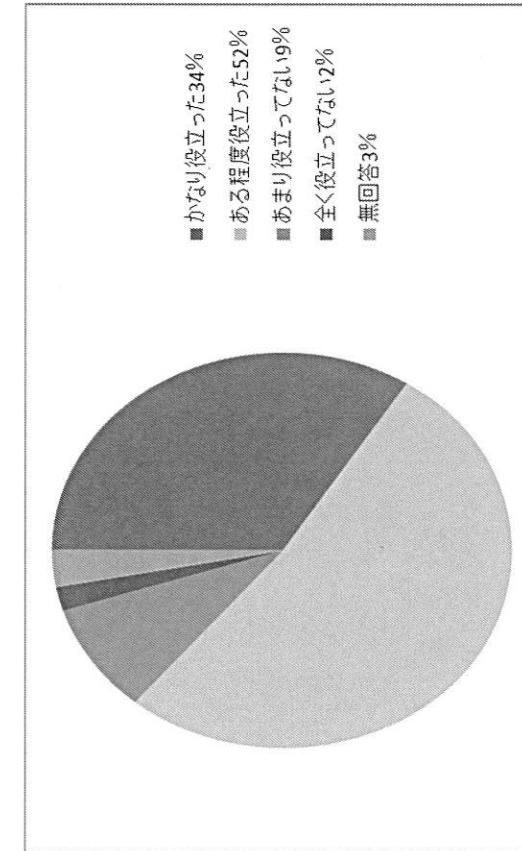
野望を阻止するためには、労働団体・市民団体・市民の共闘を発展させ、その実現を

目指す国民世論を大きく広げることが重要になつていて、

一七春闘を、その重要な契機とすることが求められている。



【日本の反映に今の憲法が果たしてきた役割の評価】



※資料：毎日新聞『日本の世論2015より作成